

2 福島県産業教育審議会

(1) 福島県産業教育審議会委員名（昭和61年度）

	氏名	公職名	
会長	佐藤盛男	福島県産業教育振興会理事長 福島市商工会議所副会頭	
	大和郭二	福島市商工会議所常議員	
	舟山角三	福島県農業協同組合中央会長	
	高田兼芳	福島県議会議員	
	海野清瀬	福島県婦人団体連合会事務局長	
	村上保	福島県立福島農蚕高等学校長	新任
副会長	小松原格	福島県立福島工業高等学校長	
	森修一	福島県立福島商業高等学校長	
	会田長栄	福島県労働組合協議会議長	
	青柳良憲	福島県高等学校教職員組合執行委員長	新任
	佐藤静雄	福島県総務部長	新任

(2) 審議

◇ 審議会

① 第3回審議会

昭和61年6月11日(木) 自治会館 302号会議室

○ 調査結果の検討

○ 検討事項のまとめ

○ 部会へ答申文案作成依頼

② 第4回審議会

昭和61年9月22日(月) 自治会館 301号会議室

○ 答申文案の検討

○ 答申文の決定

◇ 部会

部会	産業教育審議会委員	専門調査員・担当指導主事
農業 水産	舟山角三	吉田泰(福島農蚕高校 教諭)
	○村上保	内田吉春(" ") 河原敬一(小名浜水産高校 ") 門馬修一郎(高校教育課指導主事)
工業	高田兼芳	山口真一(福島工業高校 教諭)
	○大和郭二 ○小松原格	佐藤宗才(" ") 松本允(" ") 根本健作(高校教育課指導主事)
商業	青柳良憲	小島博隆(福島商業高校 教諭)
	○森修一	引地洲夫(" ") 鈴木暉夫(" ") 村上実(高校教育課指導主事)
家庭	会田長栄	郡司梧郎(郡山女子高校 校長)
	○海野清瀬	佐久間恵子(" " 教諭) 熊田忠子(船引高校 ") 吉田和子(高校教育課指導主事)

第4回部会

昭和61年6月20日(金) 自治会館 301号会議室

○ 答申文案の作成

○ 各部会における検討

(3) 答申

昭和61年10月1日(木)、教育長室において、佐藤昌志県教育長に対し、佐藤盛男会長が答申。要旨は次のとおり。

検討事項1 (職業学科共通)

社会経済の進展に対応するための職業教育の改善について(抜粋)

I 教育内容、方法の改善について

- 1 産業界における著しい技術革新に対応した、特色ある教育課程の編成に努める必要がある。
- 2 新しい技術分野の学習内容を積極的に導入するとともに、職業について啓発的経験を得させるため、実験・実習等の体験的学習の機会をいっそう拡充する必要がある。
- 3 情報化社会に対応できる人材育成のため、情報処理教育を積極的に推進する必要がある。

II 現職教育の充実と外部講師の活用について

- 1 最先端の知識、技術の研修をいっそう充実させ、教員の資質向上を図る必要がある。
- 2 産業界の各分野において、豊かな経験と識見を有する者を外部講師として活用できる方途を検討する必要がある。

III 学科のあり方について

社会の著しい変化と技術革新に対応して、既設学科の見直しを行うとともに、学科の改編について検討する必要がある。

IV 施設設備の改善、充実について

新しい分野の導入にあたっては、教育内容、方法に適した施設設備の整備、充実を図る必要がある。

検討事項2 (職業学科共通)

職業資格等の取得を推進することについて

目的意識をもたせた意欲的な学習活動を促すために、公的な職業資格の取得を推進する必要がある。

また、学習意欲の高揚を図り、職業学科に対する社会の認識を高めるため、公的な職業資格が設けられていない分野においては、技術検定制度を検討する必要がある。

※ 各職業学科については省略

3 福島県スポーツ振興審議会

根拠法 スポーツ振興法(昭和36年6月16日法律第141号第18条及びスポーツ振興審議会の委員の定数任期等に関する条例(昭和37年3月31日条例第20号))

目的 教育委員会若しくは、知事の諮問に応じ、スポーツ振興に関する重要事項について調査審議し、これらの事項について教育委員会若しくは知事に答申・建議する。

(1) 会 議

① 第1回審議会

ア 期 日 昭和61年8月27日(木)

イ 場 所 福島県自治会館 601号会議室

ウ 内 容 昭和60年度からの継続審議である主題「第50回国民体育大会の開催をふまえた本県競技力の向上策について」の第3項 選手の育成・強化について、第4項 体育・スポーツ施設の整備について審議した。

② 第2回審議会

ア 期 日 昭和61年12月3日(木)

イ 場 所 福島県自治会館 301号会議室